

# 第31回日本小児泌尿器科学会総会・ 学術集会

## 山高 篤行

第31回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会会長  
順天堂大学小児外科学講座教授

## 越智 崇徳

第31回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会事務局  
順天堂大学小児外科学講座准教授

この度、第31回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会を2022年7月20日(水)～22日(金)の3日間、都市センターホテル(千代田区)にて開催させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の第7波による感染拡大が懸念される状況でしたが、皆様のご協力、理事会のご支援を賜り、完全現地開催にて行うことができました。

本学術集会のテーマは、「守破離」としました。小児泌尿器科学の基礎を築き発展させてこられた先代の教えを「守り」、研鑽を積んで既存の型を「破り」、さらに既存の型に囚われることなく型から「離れた」新しいアイデアを生み出す、これからの小児泌尿器を担う若手医師の先生にとって魅力ある学術集会にしたいという思いから、この言葉を選びました。

教育的な示唆に富む症例を演者が発表していき、途中で6名のパネリストと会場に質問を投げかけ解答をいただく Clinical Cases Interactive Session (CCIS)

では、施設ごとの様々な意見や治療方針を学ぶことができ、大変有意義な議論ができたことと思っております。また、要望演題として、“私はこうした/こうしているセッション”と題して、「難治性夜尿症」「乳児両側高度VUR」「神経因性膀胱」「精索静脈瘤」「尿道下裂」「総排泄腔遺残」「胎児診断両側4度水腎症」の7つのテーマを設けて、演題はすべて公募で募り、その分野のエキスパートから若手の先生にも大変魅力的なご発表をしていただきました。

国内招請講演では、宮野武先生(順天堂大学理事、箱根駅伝強化担当)に、「日本小児泌尿生殖器外科揺籃期の回想と箱根駅伝」というテーマでご講演をいただき、聴衆は魅了されました。

海外からは、Dr. Prem Puri (Newman Clinical Research Professor, University College Dublin) と Dr. Alan W. Flake (Professor of Surgery, Children's Hospital of Philadelphia) をお招きし、近年の研究成果についてご講演いただきました。



ご講演を賜った Prem Puri 先生， Alan W. Flake 先生， 恩師 宮野 武先生と順天堂大学スタッフ

参加者の皆様には、久しぶりの対面での臨場感と白熱した討論を楽しんでいただけたのではないかと思います。

最後になりますが、本学術集会の開催において、泌尿器科，小児外科，小児科の先生方，看護師の皆様には座長や講演・口演など多くのご支援をいただ

きました。また、運営においては、(株)PLANNING FORESTの皆様，ならびに運営の支援をしていただきました医療関係企業，製薬会社の協賛，医局員の他，多くの先生方のご支援をいただきましたことを、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

